

はぐくむ、大切なことのすべて

SHIDAX

証券コード4837



500の仕事、シダックス。

SHIDAX VISION

第17期 決算のご報告

2017年4月1日～2018年3月31日

To Our Shareholders

■ 株主の皆様へ

株主の皆様には平素より格別のご支援ならびにご厚情を賜り、心より御礼申し上げます。

2018年3月期は、経営改革の着実な実施により、事業ポートフォリオの最適化や組織体制の革新を図ってまいりました。特に地方自治体を中心とした公共サービスの一括受託では、従来の学校給食・施設管理業務に加え、学童保育や児童館受託業務において、大きな成長を遂げております。また、本部管理コストを含めた間接費の圧縮を推進し、各事業における収益性の向上にも努めてまいりました。

2019年3月期は、「総合サービス企業」としての新たな成長に向けて、BtoP (Public) 市場における事業活動をより一層強化し、グループ全体の成長エンジンとしてまいります。レストランカラオケ事業につきましては、2018年5月30日に公表いたしましたとおり、株式会社B&Vと資本業務提携を締結し、お互いの持つ強みを共有することで、抜本的改善を目指してまいります。シダックスグループは、今後も「サービス企業のプロフェッショナル」として、持続的な企業価値の向上に努め、事業を通じて、「ソーシャル・ウェルネス (健全・健康な社会)」を実現する企業を目指し邁進してまいります。

2018年3月期の1株当たりの配当金については、安定配当の観点から15円 (1単位につき1,500円) とさせていただきます。

株主の皆様におかれましては、今後とも格別のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



はぐくむ、大切なことのすべて

SHIDAX

代表取締役会長兼社長

志太 勤一

Snapshots of SHIDAX

シダックスの「今」と「これから」をダイジェストでお届けします

詳細は
こちら

P.1 株主の皆様へ

- ◆ 事業ポートフォリオの再構築を促進
- ◆ BtoP(Public)市場における事業活動を強化

詳細は
こちら

P.2-3 業績ハイライト

- ◆ 持分法による投資損失1,740百万円、固定資産の減損損失2,181百万円を計上

詳細は
こちら

P.4-5 シダックスの成長戦略

- ◆ 「総合サービス企業」としての新たな成長戦略をスタート

トピックス P.7-8

- ◆ ホテル運営の一括受託事業を新たに開始
- ◆ 岐阜県本巣市の観光施設4カ所の受託運営を開始

詳細は
こちら

お知らせ P.9

- ◆ シリーズ企業広告「500の仕事、シダックス。」2018年度版掲載開始

詳細は
こちら

SDGsへの取り組み P.10

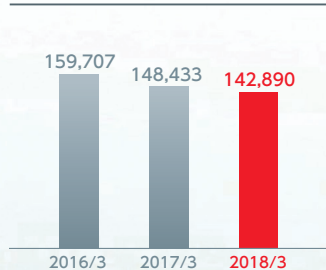
- ◆ 国際社会の目標である「持続可能な開発目標「SDGs」」を考慮した事業活動を推進

詳細は
こちら

主要な経営指標の推移 (百万円)	2016/3	2017/3	2018/3
売上高	159,707	148,433	142,890
営業利益	△771	1,269	1,169
経常利益	△1,089	△2,966	△1,387
親会社株主に帰属する当期純利益	△7,120	△3,220	△1,396
総資産	74,379	67,223	48,143
有利子負債	36,965	37,801	22,180
純資産	11,445	7,403	5,040
自己資本比率 (%)	15.4	11.0	10.2
現金同等物期末残高	10,362	7,894	8,955
1株当たり配当金 (円)	15	15	15

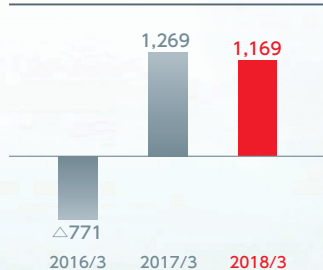
壳上高

(百万円)



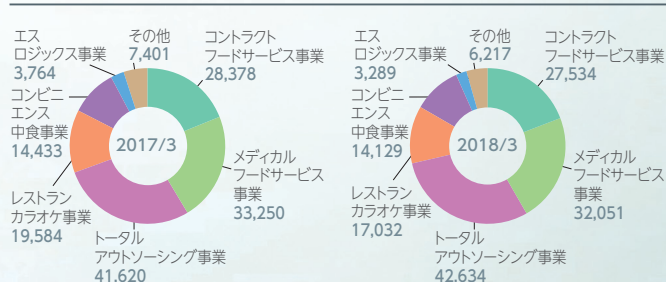
営業利益

(百万円)



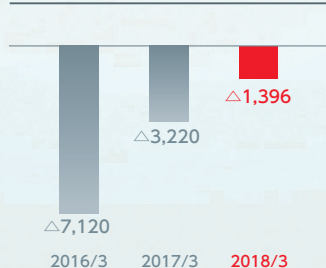
セグメント別売上高

(百万円)



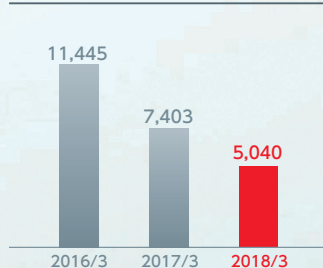
親会社株主に帰属する
当期純利益

(百万円)



純資産

(百万円)



2018年3月期の業績

- 売上高は、主にレストランカラオケ事業、コントラクトフードサービス事業、メディカルフードサービス事業において、当初計画を下回り前年比3.7%減。
- 持分法による投資損失1,740百万円、固定資産の減損損失2,181百万円の計上を行い、経常利益および親会社株主に帰属する当期純利益において、通期業績予想値を下回る。

BtoP領域を中核とした事業拡大を促進 「総合サービス企業」としての新たな成長戦略をスタート

総合サービス企業としての 事業基盤の強化



成長戦略イメージ

成長戦略

-1-

BtoP：社会サービス事業の拡大

多様化する地方創生ニーズへの対応

- 少子高齢化対策サービス
 - 健康創造サービス
 - 観光サービス
- コスト削減と住民サービスの向上
→ 観光需要に対するトータルサポート

自治体業務を一括受託できる日本で唯一の企業として、BtoP領域の事業拡大を図ります。さまざまな公共サービスの受託実績とノウハウを活かしたサービス提供は大きな優位性を持っており、成長市場である学童保育や複合化施設への営業強化や、地域観光の総合サービスの開発などを積極的に進めてまいります。



成長戦略

-2-

「トータルアウトソーシングサービス」による 攻めの経営を促進

社会構造の変化によるニーズへの対応

- 地域密着型営業体制の確立
- 成長市場に対応した営業体制の確立

少子高齢化の進展等により、ノンコア業務の外部委託化が進む中、地域特性や成長市場のニーズに迅速に対応する営業体制の強化を図ります。そして、シダックスの大きな武器であり、コストダウンとサービス向上の両面に応える「トータルアウトソーシングサービス」による営業開発を推進してまいります。



ホテル運営の一括受託事業を新たに開始

2018年2・3月にオープンした「HOTEL EMIT UENO (ホテルエミット上野)」「HOTEL EMIT SHIBUYA (ホテルエミット渋谷)」(東京・渋谷)の一括受託運営を開始いたしました。「ホテルエミット」は、デザイン、安全性、ホスピタリティを追究し、観光にもビジネスにも便利な立地に加え、グローバルな客層に対応する新しいスタイルのホテルです。この度、シダックスグループの新業態として、フロント業務、カフェレストランの運営、ルーム等の清掃、セキュリティ管理など、全ての運営業務を一括受託いたしました。今後も、本件を第1弾として、他のホテル運営の一括受託に参入し、事業拡大を目指してまいります。



中伊豆ワイナリーが「第1回日本ワイナリーアワード2018」で3つ星を受賞！

シダックスグループが運営する「中伊豆ワイナリー」(静岡県伊豆市)が、国産ブドウを使った優れた品質の日本ワインを造る事業者を専門家が格付けする国内初の企画「日本ワイナリーアワード2018」で、3つ星ワイナリーを受賞いたしました。今後も、皆様に喜んでいただけるワイン造りに励んでまいります。



岐阜県本巣市の観光施設4カ所の受託運営を開始

2018年4月1日より、指定管理者として、岐阜県本巣市がリニューアルオープンした道の駅「織部の里もとす」やホテル、温浴施設、アクティビティが一体となった「NEO桜交流ランド」、「うすずみ特産販売所」、「NEOキャンピングパーク」の計4カ所の一括受託運営を開始いたしました。特に、道の駅「織部の里もとす」では、リニューアル工事の設計・施工から携わり、屋外のフリースペースや焼き立てパン工房を新設するほか、農産物・畜産物の6次産業化推進のため、地元の企業や生産者と協同した新商品の開発を行っております。今後は、この4カ所の観光施設を、地域の新たな“活動の場”“交流の場”“憩いの場”の拠点とすべく、地元の企業や生産者と協力し、運営に取り組んでまいります。



道の駅「織部の里もとす」



NEO桜交流ランド



うすずみ特産販売所



NEOキャンピングパーク



シリーズ企業広告「500の仕事、シダックス。」 2018年度版掲載開始

2017年4月から1年間にわたり、日本経済新聞朝刊（全国版）紙面とシダックスグループWEBサイトにシリーズ広告として展開してきた「500の仕事、シダックス。」の2018年度版が掲載スタートしました。2018年度版も毎月、日本経済新聞朝刊紙面とWEBサイトに、「総合サービス企業」として500に及ぶシダックスグループの担う仕事を“人と人とのつながり”を視点にお伝えしてまいります。

このシリーズ企業広告を通じて、シダックスグループの多岐にわたり展開する事業領域、サービス、そして仕事に対する想いを皆様に知っていただく機会になれば幸いです。



500の仕事シダックス

検索

<https://www.shidax.co.jp/500/>

SDGsの達成に向けた活動を推進

シダックスグループは、企業理念に基づき、社会問題解決型企業、健康創造企業として、国際社会の目標である持続可能な開発目標（Sustainable Development Goals：SDGs）の達成に向けた取り組みに力を入れています。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標

http://www.unic.or.jp/activities/economic_social_development/sustainable_development/2030agenda/

取り組み事例のご紹介

シダックス・アカデミー 渋谷こどもテーブル

シダックスは、東京都渋谷区と協働して地域社会の課題解決とさらなる発展を目指し、「シブヤ・ソーシャル・アクション・パートナー協定」を締結しています。「シダックス・アカデミー 渋谷こどもテーブル」では、全国の学校給食や学童の仕事で培ったノウハウを活かし、日本の食文化や生活習慣など、月に1回、親子のための食のワークショップを開催しています。

関連するSDGsの項目



会社概要 Corporate Profile

（平成30年3月31日現在）

商号	シダックス株式会社
英文商号	SHiDAX CORPORATION
設立年月日	2001年4月2日
資本金	10,781百万円
従業員数	8,925名(連結)

グループ会社数	子会社：18社 関連会社：9社
本店所在地	〒182-0021 東京都調布市調布ケ丘三丁目6番地3
本社事務所	〒150-0041 東京都渋谷区神南一丁目12番10号 シダックス・カルチャービレッジ

株主様インフォメーション

2018年度より、株主の皆様の利便性向上を図り、当社の商品や事業活動への理解をさらに深めていただくために、レストランカラオケ・シダックス店舗でご利用できる優待券のほか、自社グループ製品を選択できるよう、株主優待制度の変更を行いました。

※2018年3月31日時点の株主名簿に記載または記録された株主様より対象となります。

変更の概要

- 保有株式数に応じて、①優待券②自社グループ製品のどちらかをお選びいただけます。

100株以上500株未満

- ⇒ ①レストランカラオケ・シダックスでご利用いただけるルーム料金、飲食代金540円(税込) 優待券5枚
②自社グループ製品(2,000円相当分)

500株以上

- ⇒ ①レストランカラオケ・シダックスでご利用いただけるルーム料金、飲食代金540円(税込) 優待券25枚
②自社グループ製品(6,000円相当分)

詳細な内容につきましては、同封の「株主優待案内チラシ」をご確認ください。

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月下旬
定時株主総会の基準日	毎年3月31日
期末配当の基準日	毎年3月31日
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話照会先	0120-782-031(フリーダイヤル)

